



ファームウェアバージョン :	R1.82.B016		
ハードウェアバージョン :	DGS-3420-28TC	A2/B1	
	DGS-3420-28SC		
	DGS-3420-26SC		
	DGS-3420-28PC		
	DGS-3420-52T		
	DGS-3420-52P		
発行日 :	2018/7/11		

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (シリアルポート) を使用したアップグレード	2
Web-UI を使用したアップグレード	4
追加機能 :	7
MIB および D-View モジュールの変更点 :	7
コマンドラインインタフェースの変更点 :	7
修正した問題点 :	7
既知の問題 :	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R1.82.B016	2018/7/11	DGS-3420-28TC DGS-3420-28SC DGS-3420-26SC DGS-3420-28PC DGS-3420-52T DGS-3420-52P	A2、B1

注意事項：

ハードウェアバージョン：B1 は、R1.50.B020 以降のファームウェアをサポートしています。
R1.50.B020 より前のファームウェアにダウングレードすると、スイッチは動作しません。

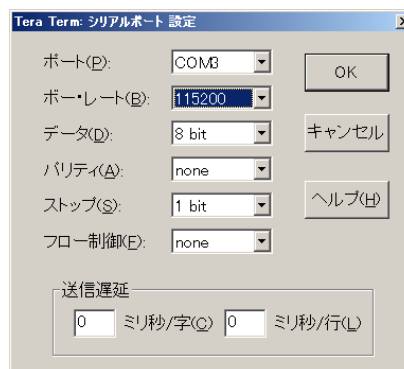
アップグレード手順：

アップグレードを行うには、CLI(シリアルポート)使用する、もしくは Web-UI から行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード

1. スwitchの電源を切り、RS-232 ケーブルで PC とスswitchのシリアルポート（コンソールポート）を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：115200
- データビット：8
- パリティ：none
- ストップビット：1
- フロー制御：none



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していることを確認し、スswitchの電源を入れます。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download firmware_fromTFTP <ipaddr> src_file <path_filename 64> dest_file <pathname 64>	スswitchにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image {unit<unit_id>} <pathname 64> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
show boot_file	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スswitchをリブートします。
show switch	スswitchのシステム情報を表示します。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

```
DGS-3420-28TC:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file
DGS3420_Run_1_82_B016.had dest_file DGS3420_Run_1_82_B016.had
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DGS3420_Run_1_82_B016.had dest_file
DGS3420_Run_1_82_B016.had
```

```
Connecting to server..... Done.
Download firmware..... Done. Do not power off!
Please wait, programming flash..... Done.
```

Success.

```
DGS-3420-28TC:admin#config firmware image DGS3420_Run_1_82_B016.had boot_up
Command: config firmware image DGS3420_Run_1_82_B016.had boot_up
```

Success.

```
DGS-3420-28TC:admin#show boot_file
Command: show boot_file
```

```
Bootup Firmware      : /c:/DGS3420_Run_1_82_B016.had
Bootup Configuration : /c:/config.cfg
```

```
DGS-3420-28PC:admin#reboot
Command: reboot
```

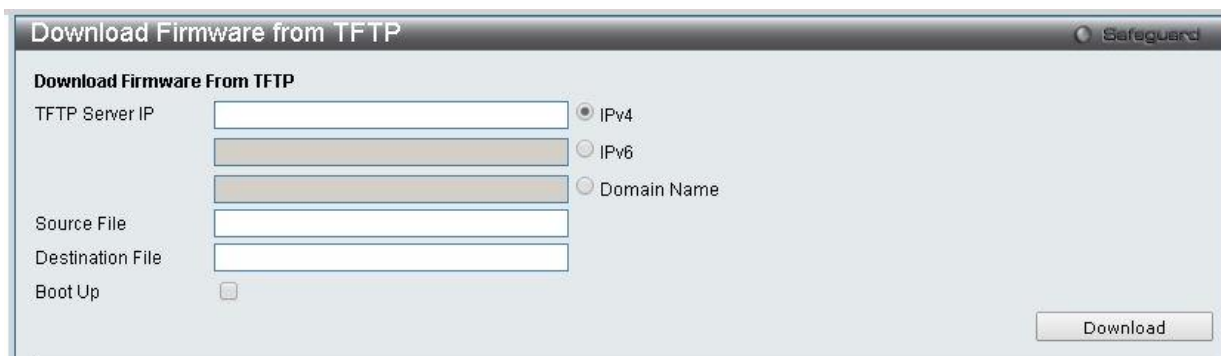
```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n)y
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意 : スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

5. 上記のリブートが行われた後に、“show switch”コマンドを実行して、ファームウェアのバージョンアップが正常に行われたことを確認してください。

Web-UI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていないので「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools > Download Firmware from TFTP** の順にクリックし、必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックします。



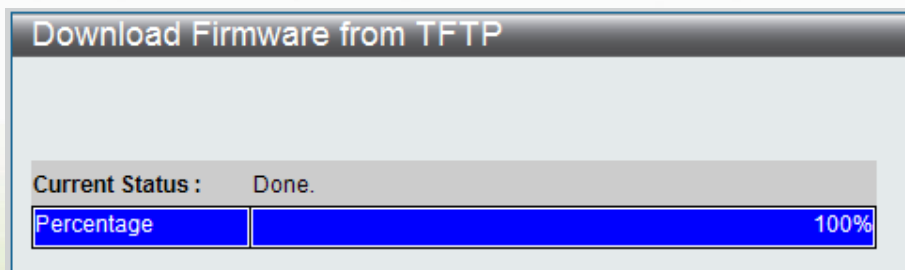
IPv4/IPv6 : IPv4 または IPv6 を選択します。

TFTP Server IP : TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

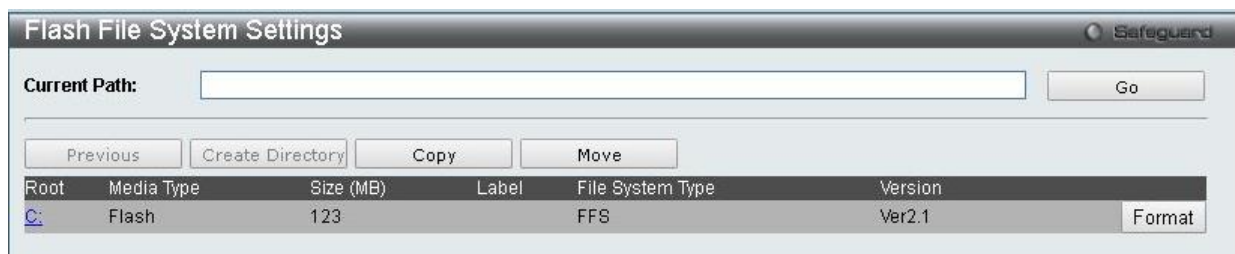
Source File : ダウンロードするファームウェアのファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

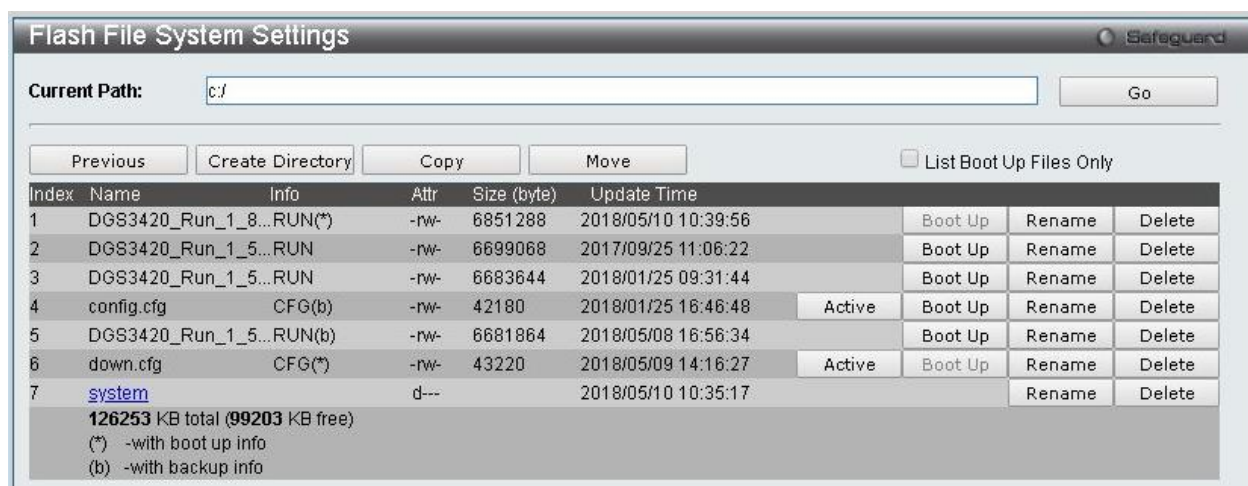
6. Current Status の値が 100%と表示されるまで待ちます。



7. 次回のスイッチリブート時にブートアップを行うイメージが選択されているか確認するために、**Network Application > Flash File System Settings** の順にクリックします。
8. Root の C: をクリックします。

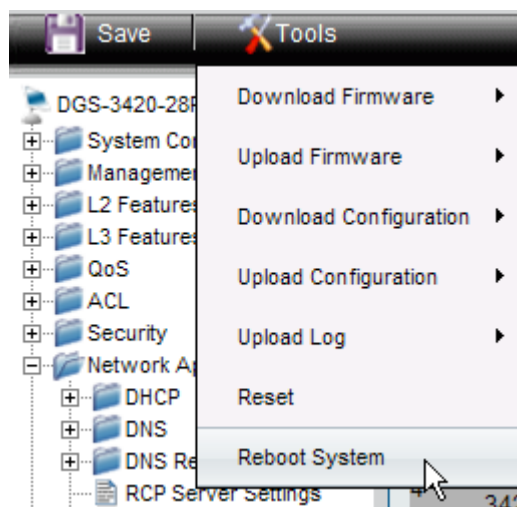


9. ファームウェアが無事にダウンロードされ、ブートアップイメージとして選択されているか否かを確認します。



ブートアップイメージとしてファームウェアが設定されていない場合は、該当するイメージの行にある「Boot Up」ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。

10. スイッチのリブートを行ないます。リブートを行なうには、**Tools > Reboot System** をクリックします。



11. 「Reboot」ボタンをクリック後、「Proceed to save the configuration and reboot the switch?」と表示されるので「OK」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。



注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

12. スイッチ再起動後、コンソールにログインし、ファームウェアのバージョンが更新されていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R1.82.B016	1. TLS1.0/1.1/1.2 に対応致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.82.B016	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.82.B016	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R1.82.B016	<ol style="list-style-type: none"> 1. HTTPS 接続時、Web UI が停止する場合がある問題を修正致しました。 2. SNMP による温度の値の取得において、スタック構成のユニットからデバイスが削除または移動された場合に、存在しないユニット ID に対して誤った値が返される問題を修正致しました。 3. タグ付き BPDU パケットが正しく処理されない問題を修正致しました。 4. LLDP-MED による音声 VLAN 設定ができない問題を修正致しました。 5. ポートチャンネル経由で接続されたデバイスの各メンバポートが Passive モードに設定されている場合、非アクティブポートに対して"distributed"ビットが設定される問題を修正致しました。 6. Box_ID が Auto に設定されている場合、ブート時に LAG が正常に動作せずループが発生することがある問題を修正致しました。 7. スタック構成時のファームウェア更新において、アップグレード進捗状況のステータスが同期されない問題を修正致しました。 8. SSH Server 機能で Maximum Session の設定が反映されない問題を修正しました。 9. DHCPv6 パケットが正しく処理されない問題を修正致しました。 10. WebUI による VLAN の Port 設定の変更が出来ない場合があった問題を修正致しました。 11. Syslog 機能において、source_ipif を指定した際の動作が不適切であった問題を修正致しました。 12. Radius 機能において、source_ipif を指定した際の動作が不適切であった問題を修正致しました。 13. TACACS+機能において、Source IP の選定動作が不適切であった問題を修正致しました。

- | |
|---|
| 14. SSH Server 機能における鍵の生成方法が不適切であった問題を修正致しました。
15. 筐体宛ての ping、ssh など IP 通信に応答しなくなる事がある問題を修正致しました。
16. スタック構成において、マスターユニットの再起動に伴い、スレーブユニットが再起動される問題を修正致しました。 |
|---|

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R1.82.B016	<ol style="list-style-type: none"> Combo Port において、SFP の RX が信号を受信している状態では、SFP Port、Copper Port とも Link Up しません。 ケーブル診断機能において、実行中に Link Down します。 ケーブル診断機能において、Link 速度が 100Mbps（対向が FE のみサポートの PHY）の場合に診断結果が"Short"と表示されます。 Internet Explorer で、「Network Application」>「Flash File System Settings」>「C:/」の画面が正しく表示されない場合がある問題。 PTP 機能において、Follow-Up メッセージの Correction フィールドに値が正しく挿入されない問題。 新しく追加された LAG ポートに対して L3 NLB パケットが送信されない問題。

Copyright 2006-2018 D-Link Japan K.K.